

◎ 社会部門（小）

1 行事及び内容

（1）研究主題「ともに学び、社会の創り手となる力を育む社会科学習」

～社会への確かな理解を基に、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする
子供を育てる社会科学習～

（2）研究内容

①社会と子供との距離を縮める教材開発

（地域素材の教材化、単元で身に付けさせる知識・技能と、社会的な見方・考え方を明確にした単元構造図の作成）

②社会科における「主体的・対話的で深い学び」の在り方

（社会への確かな理解と、よりよい社会への行動化の意欲を高める単元構成、主体的・対話的で深い学びを実現するための問いの工夫や資料の精選）

③社会と子供をつなぐ評価の工夫

（子供たちと社会をつなぐ振り返りの視点、子供たちの学びに対する評価の工夫）

（2）研究経過

① 6月11日（水） 第1回研究委員会（小中合同）

研究の方向性、研究組織、年間事業計画

② 1月30日（木） 小学校社会科部門 授業研究会 会場：天草市立本渡北小学校

ア 提案授業

3年3組 単元名「災害からまちを守るために」

指導者 緒方大将 教諭

5年1組 単元名「くらしを支える情報」

指導者 宮田陽介 教諭

イ 授業研究会

指導助言 平川純哉 教諭（熊本市立川上小学校）

熊本県小学校社会科研究会研究部長

③ 2月25日（火） 第2回研究委員会（小中合同）

研究経過報告 本年度の反省 来年度の志向



2 本年度の反省と今後の課題

本年度は研究主題を改め、1月に本渡北小学校で授業研究会を行った。3年生は「災害からまちを守るために」の火災の事例で地域の消防団を取り入れた学習、5年生は「くらしを支える情報」の単元で、天草ケーブルテレビやみつばちラジオを教材化した学習を行い、主体的、対話的で深い学びの在り方を目指し、授業づくりを検討した。それぞれ、導入の資料から学習課題をつかむよさ、資料の読み取り方のよさ、振り返りのよさなどたくさんを学ぶことができた。

来年度は、県大会が天草で行われるので、本年度の実践をもとに研究を深めていきたい。